



出光

60年前の今日。  
日章丸は、  
この国の未来を運んだ。

1953年5月9日。「出光の石油タンカー日章丸が、川崎港に帰港した」というニュースが、世界中で報じられました。

それは、石油資源の国有化を宣言したイランから直接石油を輸入するという、当時世界の石油市場を支配していたメジャーへの挑戦でした。

歴史に残るこの「日章丸事件」は、  
敗戦から立ち上がるうとする多くの日本人を勇気づけるとともに、  
今日の産油国との直接取引につながる大きな一歩となりました。

「人の力を信じ、世のためになる仕事をする。」

創業者・出光佐三の信念は、変わることのない出光人の信念です。  
私たちはこの国のこれからを、エネルギーで支えてゆきます。

ニッポンに、  
エネルギーを。